

山梨県ダンススポーツ連盟 こどもダンススポーツ講習会
キラキラ★ピーチキッズ山梨

毎週土曜日、甲府市南部市民センターで開催。
※日程や会場が変更になる場合があるので、
見学や体験希望者は下記まで連絡を
090-5554-8185(里吉)



巻頭特集

“好き”で終わらせない
文化をつなぐステップ

かつて一大ブームとなった社交ダンスは、今、甲府市で古くも新しい波。甲府市西下条町の里吉美雅さん・和恵さん夫妻は、9年前に「こどもダンススポーツ講習会」を立ち上げ、子どもたちにダンスやマナーを無償でレクチャーしている。一生懸命ステップを覚え、パートナーと目配せし、キレのある動きを展開する子どもたちは大人顔負けだ。「自分たちが何十年もやってきたことだから、子どもたちに教えたい」と淡々とした口調の裏にある、ダンスへの熱情。里吉さん夫妻の活動は、新たな文化と才能を開かせている。

社交ダンスを広めたいから
無償でレッスンを、会場提供

社交ダンスは、一人ではなく、二人で協力してつくり上げるダンス。こどもダンススポーツ講習会「キラキラ★ピーチキッズ山梨」を主宰するダンサーの里吉美雅さんが社交ダンスに惹かれ続けるのは、他者とともに変化を楽しめるからだという。「20歳の頃に始めて半世紀以上踊り続けています。社交ダンスは簡単なステップを覚えて、音に合わせて体を動かすだけ。誰にでもできることから地道に練習してひたすら上を目指します。その過程はひとりではなく、パートナーと一緒。一人ではなく、二人で変わっていきけるというのが他のどのダンスとも違います」。信頼をおくパートナーの和恵さんとは、

甲府のダンスホールで出会い、ダンスをきっかけに結婚。それぞれ仕事の傍ら、様々な競技会に出場してダンサーとして活動した。練習と仕事を両立するため自宅隣にプライベート練習場を建てるほど、二人はダンスに没頭していた。自分たちが大好きなダンス、そして培ってきたダンス技術を埋もれさせないために、子どもたちに教えたいと長年心に秘めていたことが、指導を始めたきっかけとなった。以来、集まった子どもたちに無償でレッスンをやっている。

楽しさを追求できれば
個人もチームも強くなる

社交ダンスは文化的な要素と競技的な要素を併せ持つ。近年の日本では馴染みが薄いけれど、国際的なコンペもある。

と堀井日菜子さんのペアが2部門で優勝。新たな才能として全国的な注目を浴びるようになった。

“好き”だけで終わらない
伝えることで開く可能性

休憩時間になれば、お茶とお菓子でなごむ。けれど練習が始まれば、全員が自然に姿勢良く、先生の話集中して耳を傾けながら見様見真似で踊る。二人が子どもたちに伝えたいのは「踊る楽しさ」だけという。

「おばあちゃんや、おじいちゃんに連れられて来る子どもがいたり、若い頃自分自身が大好きだったという年配の方が一緒に指導をしていたりするのも、この特徴かもしれません。社交ダンスと聞くと少し身構えてしまうかもしれないけれど、『面白そう』という感覚を大事にしてほしい。『やってよかった』と思ってもらえるくらい、好きになってくれたら嬉しいですよね(里吉さん)」

「好き」と「面白い」を根底に仕事や活動をする人は少なくない。でも本当に面白いのは、自分が突き詰めた世界を誰かに伝え、新しくつないでいくことなのかもしれない。そうすればまた、自分自身にも新しい世界が広がり、新たな楽しみが見つかると。

伝える側も、受け取る側も、生き生きとダンスを楽しむ。里吉さん夫妻のダンス愛が詰まった活動は、子どもたちの個性や感性を伸ばし、新たな文化を生み出している。



時に激しく、
時にしなやかに…



里吉さんの自宅練習場には大会で優勝したカップやトロフィーが並び



手取り足取り一緒に踊りながら指導する和恵さん(写真右)



優しい言葉かけで指導する里吉美雅さん